

HITACHI
Inspire the Next

Miniscope®
TM3030Plus

広がる低真空観察の世界

TM3030Plusは、低真空雰囲気ですべての二次電子像観察が可能に！



TMシリーズ
全世界累計受注台数
3,000台突破!



Plus 1 高感度低真空二次電子検出器を搭載

Plus 2 試料の微細形状と組成情報を合成して表示可能

Plus 3 大口径(30 mm²)SDDを搭載したEDX[®]による迅速分析

※オプション

New

 **日立ハイテク™ SI NEWS™ 公式 Facebook ページ**
<https://www.facebook.com/HitachiHighTechnologies.SINews>

SI NEWSは、弊社製品を使用した社内外の研究論文を中心に、先端の研究動向・技術情報をご紹介します。技術機関誌です。Facebook ページでは、本誌内容のご紹介を中心に、皆さまのご研究に役立つ情報をタイムリーに発信してまいります。



 **株式会社 日立ハイテクノロジーズ** 本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤルイン(03)3504-6111
インターネットでも製品紹介しております。 **URL** www.hitachi-hightech.com/jp/science/

新日本海藻誌

—日本産海藻類総覧—

吉田 忠生 著 B5判・1248頁・定価(本体46,000円+税)

岡村金太郎著「日本海藻誌」以来、実に60余年ぶりに刊行された海藻学の決定版。斯界の権威が日本の海藻を網羅して書き下ろした歴史的大著。綱、目、科、属、種などの分類階級ごとに、形質の特徴、および他との比較などを詳細に記述。また「綱から目へ、目から科へ・・・」わかりやすい検索表が付く。各種ごとに極めて詳細、細緻な文献リストが付される。さらに種ごとにタイプ産地、タイプ標本、分布地域名が示される。学名、和名の由来、生育地の特徴など、関連する話題も豊富。

有用海藻誌

海藻の資源開発と利用に向けて

大野 正夫 編著 B5判・596頁・定価(本体20,000円+税)

本書は「生物学編」、「利用編」、「機能性成分編」の3編から構成されどの項目からも必要となるところから読むことができる。生物学編は、利用分野ごとに分けて、種名の査定に必要な形態、生活史、分布生態を記述。これらの水産、食用などへの利用や産業的背景、利用の歴史についても詳述する。利用編は、海藻産業の歴史的背景、加工技術から化学構造、品質などにふれ、将来への展望を示す。機能性成分編では、あまり知られていない海藻の成分とその利用範囲を幅広く記述。

日本の赤潮生物 写真と解説

福代康夫・高野秀昭・千原光雄・松岡数充 共編 B5判・430頁・定価(本体13,000円+税)

本書はこれまでに発生した赤潮の原因種と、これに混在した種を中心として収録するほか、赤潮を形成したことがなくても、赤潮形成種を同定する際に比較すべき種や有毒種を含む。主として日本近海および日本の淡水域に出現する種類であるが、東南アジア海域で出現する重要な赤潮原因種も含む。記述は赤潮生物の大きさや外部形態の特徴を中心に行うほか、内部形態やシスト形成の有無、生活史、生理・生態などを述べる。

小林弘珪藻図鑑

H.Kobayasi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy

小林 弘・出井雅彦・真山茂樹・南雲 保・長田敬五 著 B5判・596頁・定価(本体34,000円+税)

本書は、珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書であり、斯界の第一人者、故小林弘博士の名を冠するものである。プレートとその解説をはじめ、特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かりやすく示す。分類体系には最新の研究成果を盛り込む。用語の英語、日本語、ラテン語の一覧表や、学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った。

淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数 DA_{Ipo}, pH 耐性能

渡辺仁治 編著 浅井一視・大塚泰介・辻 彰洋・伯耆晶子 著 B5判・784頁・定価(本体33,000円+税)

日本のみならず世界各地から約1500のサンプルを採集、膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約1000種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か=きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

日本淡水化石珪藻図説

—関連現生種を含む—

田中宏之 著 B5判・612頁・定価(本体33,000円+税)

本書は日本の淡水成堆積物から見出された化石珪藻の図説であり、計236分類群を収録する(一部に汽水種、および現生の淡水珪藻も収録)。本文は各分類群の精密な電顕写真、和文解説、和英の図版キャプションから成り、解説の文献欄には、原記載、または標記の所属に組み合わせを行った文献、殻の形態、種の特性等を理解する上で参考となり入手しやすい文献を示す。試料は前期中新世から完新世までの地層から採取したが、一部は現在の湖沼から採取したものを含み、産出層等への記載は、現生の浮遊・付着性試料は現生(Recent)、底泥の場合は完新世(Holocene)と記した。用語は基本的に Ross et al.(1979)、小林弘珪藻図鑑(小林ら2006)で示されたものを使用。おもな用語は巻頭に図示した。

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局（庶務）までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

1. 「藻類」バックナンバー

各号、会員価格 1,750 円、非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円、非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号，4 巻 1，3 号，5 巻 1，2 号，6-9 巻全号。

2. 「藻類」索引

1-10 巻，会員価格 1,500 円，非会員価格 2,000 円；11-20 巻，会員価格 2,000 円，非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念），会員価格 3,000 円，非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補，1977，A5 判，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴，業績一覧，追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇，和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編，1972，B5 判，xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977，B5 判，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

6. Proceedings of Algae 2002

藻類 52 巻特別号，2004，A4 変形判，253 頁。平成 14 年 7 月につくば市で開催された第 26 回日本藻類学会大会・日本藻類学会 50 周年記念行事・第 3 回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議（Algae 2002）のプロシーディング集。43 篇の論文・レビューを掲載。価格 3,500 円（送料込み）。

日本藻類学会ホームページ <http://sourui.org/welcome.html>

藻類

第 63 巻第 2 号

2015 年 7 月 5 日印刷

2015 年 7 月 10 日発行

禁 転 載
不 許 複 製

© 2015 Japanese Society of Phycology
日 本 藻 類 学 会

Printed by Isebu Inc.

編集兼発行者

畠田 智

〒 112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1
お茶の水女子大学 理学部 生物学科
Tel 03-5978-5356
E-mail shimada.satoshi@ocha.ac.jp

印 刷 所

株式会社イセブ

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20
Tel 029-851-2515
Fax 029-852-8501

発 行 所

日本藻類学会

〒 108-8477 東京都港区港南 4-5-7
東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科
海洋環境学部門
Tel & Fax: 03-5463-0526

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôru)

第63巻 第2号 2015年7月10日

目次

岡村金太郎 没後 80 周年

坂西芳彦・阿部信一郎・小松輝久：佐渡島両津湾における海草群落の分布下限水深（短報）・・・85

二羽恭介：兵庫県明石海峡周辺のノリ漁場における二毛作に向けたワカメ養殖試験・・・90

藻類学最前線

土金勇樹：ミカヅキモ属における接合様式の多様性・・・98

特集 第11回（2015年）日本藻類学会 研究奨励賞・・・103

特集 第18回（2014年）日本藻類学会 論文賞・・・105

日本藻類学会第39回大会開催記・参加記

川口栄男：日本藻類学会第39回大会（福岡）開催記・・・107

鈴木雅大：ワークショップI「藻類の和名について考える」参加記・・・108

秋田晋吾：藻類学ワークショップII「福岡の藻類 採集・観察会」に参加して・・・109

栗原 暁：日本藻類学会第39回福岡大会を降り返って・・・110

石田健一郎：井上勲 筑波大学名誉教授が第25回南方熊楠賞〔自然科学の部〕を受賞・・・113

2015年度藻類談話会のお知らせ・・・114

英文誌 (Phycological Research) 62巻3・4号和文要旨・・・115

学会録事・・・120

会員異動・・・124

学会・シンポジウム情報・・・125

入会案内・自動会費納入・・・126

賛助会員 他・・・127

和文誌「藻類」投稿案内・・・128

コラム

[遊藻子] 北山太樹：岡村先生の採集道具・・・112

[遊藻子] 大野正夫：徳島県におけるアオノリ、ワカメ・コンブ研究の総括的成果の報告書の紹介・・・114